

2021（令和3）年度 直鞍次世代産業研究会総会

（議案）

- ・ 第1号議案：2020（令和2）年度 事業報告
- ・ 第2号議案：2020（令和2）年度 決算報告
- ・ 第3号議案：2021（令和3）年度 事業計画（案）
- ・ 第4号議案：2021（令和3）年度 予算（案）
- ・ 第5号議案：2021（令和3）年度 組織（案）
- ・ 添付資料：会員名簿（2021年4月19日現在）

(1)月例役員会及び例会の開催

○各月第1木曜日を定例役員会予定日とし開催した。

役員会議事の概要をホームページに掲載し情報発信した。

○各月第3火曜日を例会予定日としていたが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響で、会員が集まつたセミナーや視察会等の開催が見送られた。

開催期日	テ　ー　マ	概　　要
5月14日	令和2年度書面総会 (役員会)	書面回答率73.2%(同承認率)であり、役員会で議案の承認を確認 議案：事業実績・決算及び事業計画・予算の承認
5月21日	総務・情報	「新型コロナウイルス対策支援一覧」を次世代HPへ登録
6月 4日	次世代組織人財	「のおがたわくわーく」中止 キッズプログラミング教室、Webセミナー検討 夢プロジェクトテーマ協議
7月 9日	次世代組織人財	「次世代夢プロジェクト」応募期間決定
8月20日	次世代事業化	役員勉強会「ロックチェーン技術を用いたまちづくり」
8月25日	次世代事業化	Webセミナー1回目「はじめてのリモート会議・動画活用」
9月 3日	次世代組織人財	「キッズプログラミング教室」開催日時決定
10月30日	次世代事業化	Webセミナー2回目「今話題の”DX”って何？～基礎編～」
11月 5日	次世代組織人財	「次世代夢プロジェクト」作品審査会
11月29日	次世代組織人財	「キッズプログラミング教室」開始 (11/29, 12/6, 12/20)
12月 1日～	次世代組織人財	「次世代夢プロ」受賞作品展示 直方イオン12/1-7, 直方市役所12/16-23 「次世代夢プロ」賞の表彰式 (会長賞含む6賞7作品) 12/8-17
2月 1日 メール配信	次世代事業化	「新型コロナ・自然災害に負けない！ 中小企業・組合のための事業継続計画(BCP)普及Webセミナー」3/8-3/17 福岡県中小企業団体中央会

(2)2020(令和2)年度書面総会の開催

2020(令和2)年度書面総会の結果について

- ・送付(会員・賛助会員) : 4月14日(火)
- ・FAXによる回答締切 : 5月 1日(金)
- ・結 果 : 回答率 73.2% (30/41)
議案承認率 73.2%

(公印省略)

令和2年4月14日

会員名位

直轄次世代産業研究会
会長 藤永 勝巳

2020年度 直轄次世代産業研究会総会の書面開催について

春色やかな季節、ますますご清栄のことお慶び申し上げます。
会員の皆様方におかれましては、大変ご多忙の時期ではございますが、日々の業務に邁進されていらっしゃること拝察いたします。
さて、今年も総会を開催することとしておりましたが、ご承知のおり新型コロナウイルス感染症の状況等を鑑みますと、役員会において、近々の実施については不可能と判断いたしました。
つきましては、異例でありますが、書面にての開催といたしましたので、同封の議案資料をご査収の上、書面決議書の返送方、よろしくお願ひいたします。
なお、本年度計画しております各事業につきましては、今後の状況を見ながら実施する事としておりますのでよろしくお願ひいたします。

直轄次世代産業研究会
事務局 中村裕章
電話 0949-22-0575

書面決議書

2020年度 直轄次世代産業研究会総会における

① 第1号議案:2019年度(令和元年度)事業報告
 ② 第2号議案:2019年度(令和元年度)決算報告
 ③ 第3号議案:2020年度(令和2年度)事業計画(案)
 ④ 第4号議案:2020年度(令和2年度)予算(案)

について

承認します。

承認しません。

※○印でご記入下さい

※ 上記、承認の可否をご記入頂き、署名・押印のうえ、
5月1日(金)までにFAX(0949-22-2700)にて
ご返送を賜りたくお願い申し上げます。

直轄次世代産業研究会
会長 藤永 勝巳 様

会員企業名 _____

氏名 _____ 印

(3)取り組んだ主な事業

①次世代に活躍する人財育成支援

①-1 「次世代夢プロジェクト2020」の実施

- 直鞍地域の次世代を担う小中学生を対象に、より暮らしやすく、地域が発展する夢のあるアイディアを募集し、優秀作品を顕彰する事業を継続して展開。
- 直鞍地域17校から178点の応募があり、内27作品を顕彰した。
- 27作品については、イオンモール直方、直方市役所で展示し一般公開した。



応募チラシ



表彰式



賞審査



作品展示

「次世代夢プロジェクト2020」の広報・報道関係

直方商工会議所ニュース 2020 7月号

集まつたアイデアの中から、最優秀作品・入賞作品を表彰します。たくさんのご応募をお待ちしています。詳しく述べは、お問い合わせください。詳しく述べは、お問い合わせください。
対象：直轄地域に住んでいる小学1年生～中学校3年生
募集テーマ：次のテーマから1つ選んで応募
①安全で元気いっぱい
②みんな優しくて仲良し
③山や川、海まできれい
④ずっと住んでいたい
申し込み期限：10月16日（金）
問い合わせ：直轄産業振興センター（ADOX福岡）
(TEL 22-2210575)
(FAX 22-12700)

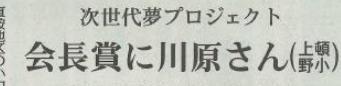
市報のおがた令和2年9月1日号



西日本新聞 朝刊
筑豊版 2020.12.16



毎日新聞 朝刊
筑豊版 2020.12.27



直鞍次世代産業研究会など主催



市立上畠野小5年、川原璃乃さんのアイデア「みんなでひなん訓練」
ら防災について考え、「近所に知らない人た
多いので、訓練をする」

他のご
数字はご
の皆さ
るもえ

5

①-2 「次世代キッズプログラミング教室」の開催

直鞍地域の小学校高学年生とその保護者を対象に、コンピュータがどのように動いているかの基礎知識を学習し、ITに興味を持ち、より高度な知識の習得、自己学習を促すきっかけになることを期待し実施。

次世代キッズプログラミング教室

参加者募集!!

～みんなはまちのプログラマー～



直鞍次世代産業研究会では地域貢献活動の一環として、次世代の地域を担う子供たちの創造力を培う取組みを行っています。これまで実施してきたものづくりアイデア募集の「夢プロジェクト2020」の他に、これから子供たちに必要とされるITの力を養うための支援事業を行います。この事業を通じて、コンピュータがどのように動いているかの基礎知識を学習し、ITに興味を持ち、より高度な知識の習得、自己学習を促すきっかけになることを期待しています。

※新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、中止になることがあります。

※写真のmicro:BITを使って初歩的なプログラムから体験していきます。

※サポートとして鞍手高校のSSH部（科学部）の皆さんにお手伝いしてくれます。

※教室のないときの疑問、質問はホームページやFacebookページで問い合わせに回答します。

【募集対象】直鞍地域の小学校4・5・6年生とその保護者

【応募期間】2020年11月6日（金）締切り

【応募条件】・保護者が同伴できること。
・インターネットができるパソコン（Windows又はMac）を持参できること。（会場はWiFi環境を備えています）
・3回とも参加可能のこと。

【募集定員】10組（応募多数の場合は抽選になります）

【開催日時】（期日は変更になる可能性もあります。）
第1回目：11月29日(日)10:00～12:00
第2回目：12月6日(日)10:00～12:00
第3回目：12月20日(日)10:00～12:00

【会場】直鞍産業振興センター（ADOX福岡 別館）
直方市植木849-1 ホームページ：<https://adox.jp>

【参加費用】1,000円／一組（micro:BITを1台支給します）

【お問合せ先】直鞍産業振興センター（ADOX福岡別館）（担当：中村）
TEL:0949-22-0575 FAX:0949-22-2700
E-mail: kids-pro@adox.jp <https://adox.jp/kids-programming>

【申込み方法】FAX又はホームページ申込みフォームかE-mailにて

主催 直鞍次世代産業研究会
共催：直鞍産業振興センター、直方市
後援：直方市・宮若市・鞍手町・小竹町各教育委員会

表 事業内容および参加組数

回 数	参加組数 (人数)	内 容
1回目	19(39)	micro:bitボードについての基礎、基本表示、センサーの利用
2回目	17(34)	外部出力、無線通信、おまけ
3回目	14(28)	総合演習（復習）、みんなが作ったものの発表など
延計	50(101)	

○ 成 果

- 3回目の発表会においては5組が発表し、小学生とは思えないほどの発表と作品を参加者の前で公表した。
- 3回目後半では、「ラジコンカープログラム」を作成し試走を行った。各保護者のアンケートでは、1, 2回で身につけたプログラミングで、モノが動く体験が出来た事は、子供にとって良い機会であるとの意見が多かった。
- 鞍手高校SSH部の連携支援も得られ、高校生の地域貢献活動としても役に立った。

応募チラシ

6

「次世代キッズプログラミング教室」の広報・実施状況

対象：直轄次世代産業研究会では、子どもたちに必要とされるITの力を養うための支援事業として開催します。ご応募をお待ちしています。

とき：11月29日（日）、12月6日（日）、20日（日）各日午前10時～正午

募集人員：10組

※応募多数の場合は抽選

申し込み期限：11月6日（金）

ところ・申し込み・問い合わせ：直轄産業振興センター（中村）（中村）
TEL 22-0575

次世代キッズプログラミング教室

直轄次世代産業研究会で

は、子どもたちに必要とされ

るITの力を養うための支援

事業として開催します。ご応

募をお待ちしています。

ご応募をお待ちしていま

す。

市報のおがた令和2年10月1日号



研修室



受講者



発表者



スラローム



サッカー



鞍手高校教諭・部員への御礼

次世代キッズプログラミング教室参加者募集中!!

みんなはまちのプログラマー

直轄次世代産業研究会では、次世代の地域を担う子供たちの創造力を培う取組を行っています。これらの子供たちに必要とされているITの力を養うため、鞍手高校SSH部の協力を頂き、今年もキッズプログラミング教室を開催します。

(コロナウィルスの感染拡大により中止もあります)

問い合わせ先:事務局 0949-22-0575(中村)

直方商工会議所ニュース
2020 10月号

②セミナー等の実施

- ・次世代の市場研究、事業化等のテーマを基本に、特に令和2年度は新型コロナウイルスの影響による「働き方改革」を模索するため、研究会主体のWebセミナーを2回、他Webセミナーを1回開催した。また、幅広い活動普及を図るため、関連ある内容については広く一般参加も呼び掛けるとともに、自動車産業研究会等とも連携開催を行った。

②-1 Webセミナー1回目

日 時：2020年8月25日から10月30日まで配信

配 信：YouTube を用いたWeb配信

演 題：「はじめてのリモート会議・動画活用」

講 師：hi-kick.design 服部憲一 氏 (N-biz IT・Webアドバイザー)

視聴回数：43回

なぜZoomがお勧め？

- ・ユーザー登録はホスト側(招待する側:講師側)のみ！
無料でも使える！
(2人以上の利用は1回40分の制限があり)
- ・ゲスト側はメールやチャットに記載のURLを
クリックするだけでアプリのインストールが完了！
すぐにリモート会議が開始PC初心者も簡単に導入可能！

GoogleのアカウントがあればOK！ YouTubeのはじめ方

YouTubeを開いて画面右上の「ログイン」からGoogleのIDとパスワードでログインすることで、動画をアップロードすることができるようになります。

QRコードを作成・印刷するには？

- 1、ネット上のQRコード作成サービスにアクセスします。
例：CMANインターネットサービス
<https://www.cman.jp/QRCode/>
- 2、作成したQRコードをダウンロードします。
(URLを入力し作成ボタンを押すだけ！)
- 3、ダウンロードしたQRコードをWordなどに張り付けて印刷します。

②-3 福岡県中小企業団体中央会主催 Webセミナー3回目
 (直鞍次世代産業研究会、直鞍自動車産業研究会会員へ開催メール配信)

日 時：2021年3月8日 9:00 から 3月17日 17:00まで Web配信 120分(40分×3コマ)

配 信：Webセミナー

演 題：「新型コロナ・自然災害に負けない！
 中小企業・組合のための 事業(BCP)Webセミナー」120分(40分×3コマ)
 (有)薦田経営リスク研究所 代表取締役 薦田恭久

【令和2年度組織強化対策事業 (BCP策定支援事業)】

**新型コロナ・自然災害に負けない！
 中小企業・組合のための
 事業継続計画(BCP)
 普及Webセミナー**

講師：薦田 恭久 氏
 (有)薦田経営リスク研究所 代表取締役

参加費無料
 事前登録要

1965年生れ。陸上の選手、企業勤務を経て、情報通信関連会社を経営し、約14年同企業経営者として務めた。2005年、(有)薦田経営リスク研究所を設立。新規ビジネス開拓・事業再生・経営革新、BCP・BCM等の企業経営リスクマネジメント支援等。現在、独立行政法人中小企業政策推進機構・事業承継コーディネーター、中小企業診断士、経営学修士。

東日本大震災、熊本地震、九州北部豪雨等の自然災害により、多くの中小企業が、人材や設備を失い廃業に追い込まれるとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業縮小・従業員の解雇・倒産等が繰がるケースも発生しています。

BCP(事業継続計画)とは、自然災害や感染症等の緊急事態が発生した際に、企業が損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るために計画です。

また、令和元年5月に「中小企業強化法」が成立し、本法に基づき防災・減災・感染症対策等に取り組む中小企業が策定する「事業継続力強化計画」の認定制度がはじまりました。

事業継続力強化計画の認定を受けた企業は、「防災・減災設備の税制優遇」、「補助金の優先採択」、「低利融資」等の支援策を活用する事ができます。

当セミナーは、BCP及び事業継続力強化計画の概要及び策定方法等を学ぶことで、中小企業や組合の緊急事態への対応力や事業継続力の強化を図ります。

受講期間 令和3年3月8日(月) 9:00～3月17日(水) 17:00
 研修時間 120分(40分×3コマ)※受講期間中はいつでもWeb上で受講が可能です。
 受講方法 画面をご確認頂きお申込み下さい
 定 員 100名(定員に達した場合は、事前に申し込みを締め切らせて頂きます)

主催：福岡県中小企業団体中央会
 (お問合せ先) 企業支援室 TEL:092-622-8486 FAX:092-622-6884
 新型コロナウイルス感染防止のためオンラインでセミナーを実施致します

コース名: 事業継続計画(BCP)普及Webセミナー

終了率 0%

I. BCP策定の必要性・意義・概要

コンテンツ名	種類	進捗率/得点	最終学習日
レクチャー(動画)	レッスン	0	

II. BCP作成・導入のポイント・メリット・有効性・取組紹介

コンテンツ名	種類	進捗率/得点	最終学習日
レクチャー(動画)	レッスン	0	

III. 事業継続力強化計画認定制度及び申請の解説

コンテンツ名	種類	進捗率/得点	最終学習日
レクチャー(動画)	レッスン	0	

アンケート

コンテンツ名	種類	進捗率/得点	最終学習日
アンケート	フォーム		

福岡県中小企業団体中央会主催セミナー資料

**新型コロナ・自然災害に負けない！
 中小企業・組合のための
 事業継続計画(BCP)普及Webセミナー①**

I. BCP策定の必要性・意義・概要

II. BCP作成・導入のポイント・メリット・有効性・取組紹介

III. 事業継続力強化計画認定制度及び申請の解説

2021年3月8日～17日

(4)事業の総括

- 夢プロジェクト事業は、令和2年度コロナ禍のため小中学校の夏休み短縮も有り、応募期間を延長して行った。応募は集中的に取り組んで頂いた直方市中学校が多く、応募者数は昨年を上回ったが、直方市外の学校は応募が少なく次年度に向けてPRのため各教育委員会へ報告書を提出した。
本事業も5年間継続し作品の幅が狭くなっており、令和3年度は「将来したい仕事は?」「町を良くするアイディアは?」等、呼びかけ方式を考慮しながら積極的に取り組んでいく必要がある。
- 令和元年度より新たに取り組んだ「次世代キッズプログラミング教室」は、令和2年度も次世代の人財育成に注力し継続を行った。小学校でのプログラミング教育が開始され、参加者のプログラミングに対する意識も高く、最終回の発表会では5組が小学生とは思えないほどの発表と作品を公表した。
また、鞍手高校との連携も出来、今後につながる取組となつた。令和3年度の取組み継続も検討する必要がある。
- 情報発信については、昨年度よりホームページの内容を見直し、毎回の役員会、定例会の概要を掲載するようにした。今年度はホームページ内に、新型コロナウィルス対策支援一覧を掲載し都度更新を行つた。今後も情報発信コミュニケーションのツールとして充実させる必要がある。
- コロナ禍に於ける研究会の新たな取組を探るため、会場を用いた勉強会・セミナーを行わず、Webセミナー形式での発信を行つた。また、先進機関等の視察会やものづくりフェアー視察の計画を行つたが、コロナ禍のため視察受け入れ企業が無くものづくりフェアーもオンラインとなり視察研修会が行えなかつた。令和3年度はWebを用いた活動を充実させ、コロナ禍においても会員が多く参加できる企画を行う必要がある。

第2号議案

2020(令和2)年度直鞍次世代産業研究会一般会計決算

収入の部

(単位:円)

勘定科目	予算額 (B)	決算額 (C)	比較 (C-B)	摘要
入会金	0	0	0	
正会員会費	756,000	378,000	△ 378,000	会費減額(1/2)、2社退会(過年度分納入有) (現在29社30名)
賛助会員会費	50,000	25,000	△ 25,000	会費減額(1/2)
雑収入	200,000	19,010	△ 180,995	預金利息、徴収会費を計上
前年度繰入金	1,042,336	1,042,336	0	
合 計	2,048,336	1,464,346	△ 583,990	

支出の部

(単位:円)

勘定科目	予算額 (B)	決算額 (C)	比較 (C-B)	摘要
総務	450,000	69,096	△ 380,904	コロナ禍のため総会、新年会・情報交換会無 コピー機使用料、お茶代、郵送費、その他
次世代市場研究費	150,000	0	△ 150,000	コロナ禍のため会員が集まっての講演会無
次世代事業化事業費	350,000	27,498	△ 322,502	合同セミナーはWeb、企業見学会は休止中
次世代組織人財事業費	240,000	362,916	122,916	キッズプログラミング教室(2会場)のためLAN 機器設置・工事、夢プロジェクト
研究会情報提供事業費	140,000	124,134	△ 15,866	ホームページ維持・更新、商工会議所ニュース掲載料
産業振興費	20,000	0	△ 20,000	わくわーく(2020年度は無)
視察研修助成金	0	0	0	
記念事業費	0	0	0	
予備費	698,336	0	△ 698,336	
合 計	2,048,336	583,644	△ 1,464,692	
収支差額	0	880,702	880,702	次年度繰り越し

2020(令和2)年度直鞍次世代産業研究会特別会計決算

1. 記念事業積立金

(単位:円)

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
記念事業費（前年度積立金）	2,307,337	2,307,337	0	
記念事業費（当年度積立金）	0	0	0	
預金利息	196	197	1	利息1円増
合 計	2,307,533	2,307,534	1	

2. 観察研修助成金基金

(単位:円)

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
観察研修助成費（前年度積立金）	935,911	935,911	0	
観察研修助成費（当年度積立金）	0	0	0	
預金利息	80	80	0	
合 計	935,991	935,991	0	

監査報告書

直鞍次世代産業研究会の令和2年4月1日から令和3年3月31日までの事業年度に関し、事業の実施及び会計の状況について監査を行ったので下記のとおり報告する。

記

1. 監査期日

令和3年3月19日(金)

2. 監査場所

直鞍産業振興センター別館内

3. 監査結果

事務局から事業実施の状況及び収支計算書、領収書、預金通帳などを基づく会計処理の状況について説明を受け、監査を行った。

その結果、いずれについても適正に執行、処理されていた。

令和3年3月19日

監査役 朝比奈 一 

令和3年3月19日

監査役 紀野 英一 

以上

第3号議案

2021(令和3)年度 直鞍次世代産業研究会事業計画(案)

1. 基本方針

本研究会は、2020年度に取組んだ事業の成果・反省を踏まえ、次世代を担う人財育成事業や次世代の組織・企業のあり方を研究し、参加企業の発展と地域振興を目的とした調査・研究・事業の実施に取組む。また、コロナ禍に於ける新たな取り組みを探るためWebを用いた活動を充実させ、いち早く新事業やニーズへの情報提供、本会の活動の発信を持って地域外企業・団体・自治体とのマッチングも進めていく。次世代に向けての企業活動が迅速かつ円滑に進められるよう自治体・関係所管への提言も行っていく。

2. 実施事業

(1) 次世代市場研究事業

- ・新技術、新サービス等に関する先進事例視察研究、セミナー等の開催

(2) 次世代事業化事業

- ・コロナ禍に於ける研究会として新たな取り組みを探るため、Webを用いた活動を充実させる
- ・研究会独自の新規事業に取り組む
 - ・新規事業：ソーシャルビジネスへの取り組み(SDGs)

(3) 次世代組織人財事業

- ・次世代の人財育成に資する取組みや企業人財の高度化に関する勉強会の実施
 - ・夢プロジェクトの実施
 - ・キッズプログラミング教室の実施

(4) 研究会情報事業

- ・インターネット、情報媒体の活用による情報の積極的発信

(5) 産業振興ビジョン等支援事業

- ・のおがた「わくわーく」への支援

(6) 視察研修助成金事業

【新規事業の計画】

ソーシャルビジネスへの取り組み



持続可能な開発目標とは17のグローバル目標と169のターゲットから成る国連の持続可能な開発目標。2015年9月の国連総会で採択された『我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ』と題する成果文書で示された2030年に向けた具体的行動指針。

【新規事業の計画】

ソーシャルビジネスへの取り組み

持続可能な経済と社会の環境を考える

産業革命以降

アダムスミスの自己利益の追求が産業革命以降の技術的創意工夫とともに製品・ブランドを通しての自己アイデンティティの追求への

消費主義と変化 所有するための消費

浪費の為に働き消費を目まぐるしいサイクルで行い
大量生産・大量消費で「使い捨て」は当たり前の
社会システムで欲望を慢性的に喚起させる
マーケティングと実経済

現在とは

未解決な環境問題

慢性的な世界経済の衰退

コミュニティの重要性

ソーシャル・プライベートな情報伝達の
インフラ

ハイパー消費での環境問題や資源・生産・社会の
非持続性
ソーシャルネットワーク・IOT等情報交換技術
の発展

これから

コミュニティへの参加欲求

自分一人だけの消費から複数・共同・長期化

製品・サービス・時間・空間などを所有すること
から共同・共有する形態やコミュニティ・経済へ
意味ある活動への欲求 規模から範囲の経済

【新規事業の計画】

ソーシャルビジネスへの取り組み

次世代型ビジネスとして

大量・安全・アクセスなICTのインフラの利用
共有資産のコラボ・シェアの流動
域内コミュニティの再構築と循環

空家・空き店舗・余剰社会資本キャパ
→ IoTでのサービス・ワーク・交換
域内ポイント



第4号議案

2021(令和3)年度 一般会計予算(案)

収入の部

(単位:円)

勘定科目	2020年度予算 (A)	2020年度決算額	2021年度予算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
入会金	0	0	0	0	
正会員会費	756,000	378,000	354,000	△ 402,000	29社(30名)、会費減額(1/2)
賛助会員会費	50,000	25,000	25,000	△ 25,000	10社、会費減額(1/2)
雑収入	200,000	19,010	200,000	0	預金利息、徴収会費を計上
研修助成金	0	0	0	0	
記念事業費	0	0	0	0	
前年度繰入金	1,042,336	1,042,336	880,702	△ 161,634	昨年度繰越金
合 計	2,048,336	1,464,346	1,459,702	△ 588,634	

支出の部

(単位:円)

勘定科目	2020年度予算 (A)	2020年度決算額	2021年度予算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
総務	450,000	69,096	450,000	0	
次世代市場研究費	150,000	0	150,000	0	
次世代事業化事業費	350,000	27,498	350,000	0	
次世代組織人財事業費	240,000	362,916	240,000	0	コロナ禍ではあるが、2021
研究会情報提供事業費	140,000	124,134	140,000	0	年度予算は2020年度当初
産業振興費	20,000	0	20,000	0	計画並みで策定
視察研修助成金	0	0	0	0	
記念事業費	0	0	0	0	
予備費	698,336	0	109,702	△ 588,634	次年度繰越予定
合 計	2,048,336	583,644	1,459,702	△ 588,634	
収支差額	0	880,702	0	0	

2021(令和3)年度特別会計予算(案)

1. 記念事業積立金

(単位:円)

勘定科目	2020年度決算額 (A)	2021年度予算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
記念事業費(前年度積立金残高)	2,307,337	2,307,534	197	
記念事業費(当年度積立金)	0	0	0	
預金利息	197	197	0	2020年度利息を参照
合 計	2,307,534	2,307,731	197	

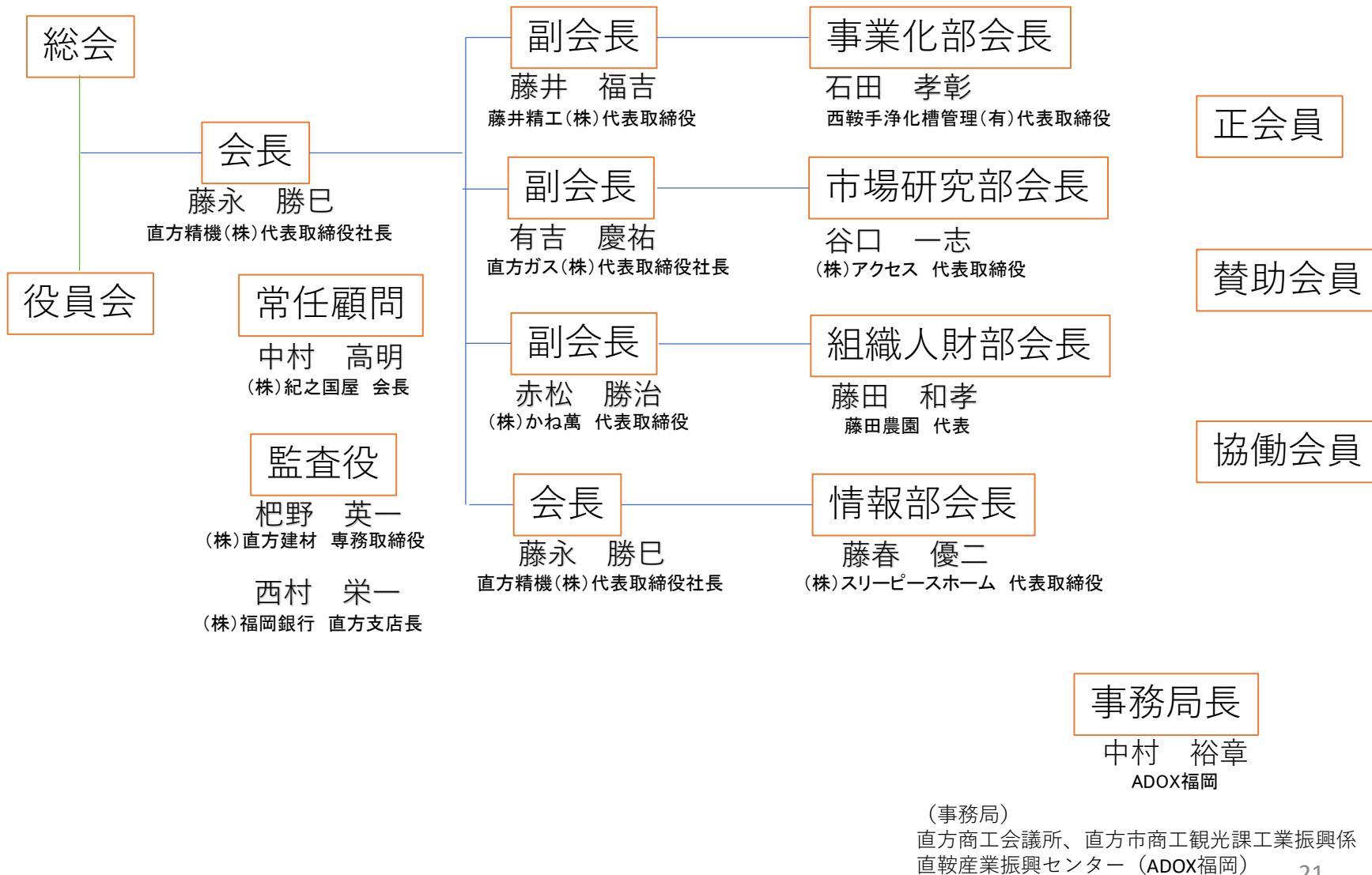
2. 観察研修助成金基金

(単位:円)

勘定科目	2020年度決算額 (A)	2021年度予算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
観察研修助成費(前年度積立金)	935,911	935,991	80	
観察研修助成費(当年度積金)	0	0	0	
預金利息	80	80	0	2020年度利息を参照
合 計	935,991	936,071	80	

直鞍次世代産業研究会 組織図(案)

2021年4月1日改定



2021/4/19

正会員		会 社 名	役 職 名	氏 名
会長	次世代情報担当	1 直方精機 株式会社	代表取締役社長	藤永 勝巳
副会長	次世代事業化担当	2 藤井精工 株式会社	代表取締役	藤井 福吉
副会長	次世代市場研究担当	3 直方ガス 株式会社	代表取締役社長	有吉 康祐
副会長	次世代組織人材担当	4 株式会社 かね萬	代表取締役	赤松 勝治
常任顧問		5 株式会社 紀之国屋	会長	中村 高明
監査役		6 株式会社 直方建材	専務取締役	杷野 英一
		7 株式会社 石橋製作所	代表取締役社長	石橋 和彦
		8 株式会社 ウチダ	取締役統括部長	大原 大平
		9 株式会社 紀之国屋	代表取締役社長	中村 大志
		10 株式会社 ケイ・イー・エス	代表取締役	飯野 一義
		11 株式会社 さかい家具	代表取締役社長	坂井 宏太郎
		12 三泉化成 株式会社	取締役	鈴山 俊丈
		13 有限会社 ゼロテック	代表取締役	中島 太
		14 株式会社 田中信鉄工所	代表取締役	田渕 元悟
		15 株式会社 谷弥	代表取締役社長	谷 弥壽彦
		16 株式会社 旅ランド	代表取締役	石田 和弘
		17 株式会社 築豊産業	常務	小野 龍平
		18 株式会社 東洋プレシジョン	専務	大森 大輔
		19 株式会社 トラベルハート	代表取締役	藤井 利春
		20 福岡金属興業 株式会社	代表取締役社長	横溝 淳弥
		21 株式会社 フクモト工業	代表取締役	福本 満寿男
		22 牟田鉄工 有限会社	代表取締役	牟田 淳一
		23 有限会社 渡辺鉄工	代表取締役会長	阿比留 恭之
市場研究部会長		24 株式会社 アクセス	代表取締役	谷口 一志
		25 有限会社 おおつか	取締役社長	大塚 政徳
		26 医療法人 健明会	事務長	青見 健志
情報部会長		27 株式会社 スリーピースホーム	代表取締役	藤春 優二
事業化部会長		28 西鞍手浄化槽管理 有限会社	代表取締役	石田 孝彰
組織人財部会長		29 藤田農園	代表	藤田 和孝
		30 イシダファーム	代表	石田 大輔

賛助会員		機 関 名	役 職 名	氏 名
		1 アドバンテックテクノロジーズ 株式会社	取締役 部長	越智 隆義
		2 トヨタ自動車九州 株式会社	副社長	馬場 貞仁
		3 株式会社 西日本シティ銀行 直方支店	支店長	有松 光浩
監査役		4 株式会社 福岡銀行 直方支店	支店長	西村 栄一
		5 株式会社 福岡中央銀行 直方支店	支店長	荒川 裕二
		6 福岡ひびき信用金庫 直方支店	支店長	深見 初彦
		7 ホシデン九州 株式会社	総務課主事	尾崎 徹也
		8 北九州市立大学大学院マネジメント研究科	教授	城戸 宏史
		9 末次通訳事務所	代表	末次 賢治
		10 直方鉄工協同組合	理事長	吉田 祐司

協働会員		機 関 名	役 職 名	氏 名
	1	福岡県飯塚中小企業振興事務所	所長	柳瀬 智幸
	2	直方市 産業建設部	部長	増山 智美
	3	直方市 商工観光課	課長	水ノ江 秀子
	4	宮若市 産業建設部	部長	山中 敏範
	5	宮若市 産業観光課	課長	荒牧 裕二
	6	直方商工会議所	会頭	谷 弥壽彦
	7	宮若商工会議所	会頭	中田 正夫
	8	小竹町商工会	会長	藤本 義房
	9	鞍手町商工会	会長	許斐 英幸
	10	若宮商工会	会長	塩川 善和
	11	(公財)飯塚研究開発機構	専務理事	中川 和博

名誉顧問		機 関 名	役 職 名	氏 名
	1	福岡県	知事	服部 誠太郎

顧 問		機 関 名	役 職 名	氏 名
	1	直方市	市長	大塚 進弘
	2	宮若市	市長	有吉 哲信
	3	鞍手町	町長	岡崎 邦博
	4	小竹町	町長	松尾 勝徳

アドバイザー		機 関 名	役 職 名	氏 名
	1	経済産業省九州経済産業局 国際部	部長	渡辺 伸仁
	2	福岡県 商工部	部長	岩永 龍治
	3	(独)日本貿易振興機構 福岡貿易情報センター	所長	山岡 富和

事務局		機 関 名	役 職 名	氏 名
	1	直方商工会議所	中小企業相談所長	岩崎 憲明
	2	直方市産業建設部商工観光課	工業・交通係係長	後藤 靖宏
	"		工業・交通係	尾崎 麗依奈
	3	ADOX福岡	センター長	中野 建次
	"		事務局長	高山 晋二
	"		産業振興課長	中村 裕章

